

【概要版】

高齢者の福祉や介護に関する調査

— 市民ニーズ調査 —

実施結果

■ 調査対象及び回収数

調査対象	要介護 1～5	特養待機者	合計(全体)
抽出方法	要介護の認定を受けている 65 歳以上の市民(施設入所者も含む)から無作為抽出※	65 歳以上の市民で、特別養護老人ホームへの入所申込者から無作為抽出※	
調査発送数	8,708 件	400 件	9,108 件
回収数	4,649 件	193 件	4,842 件
回収率	53.4%	48.3%	53.2%

※調査対象者の無作為抽出は、高齢者支援センターの 12 区域ごとに行った。

なお、集計分析は高齢者支援センターごとの抽出率の差異に関する補正を行わない単純集計に基づく。

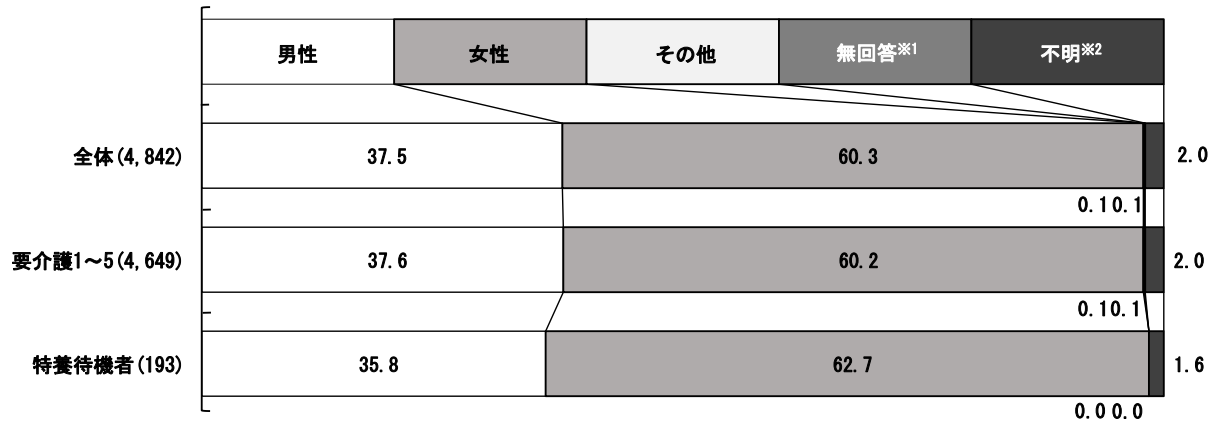
■ 調査結果の見方

- ・百分率(%)は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入した数値であるため、合計が 100%にならない場合がある。
- ・本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「%」であらわしている。
- ・グラフ内の()は、設問の回答者数(母数)をあらわしている。
- ・グラフ内の「回答者数」は、各設問に該当する回答の総数であり、回答率(%)の母数をあらわしている。

■ 調査結果の概要

回答者の属性について

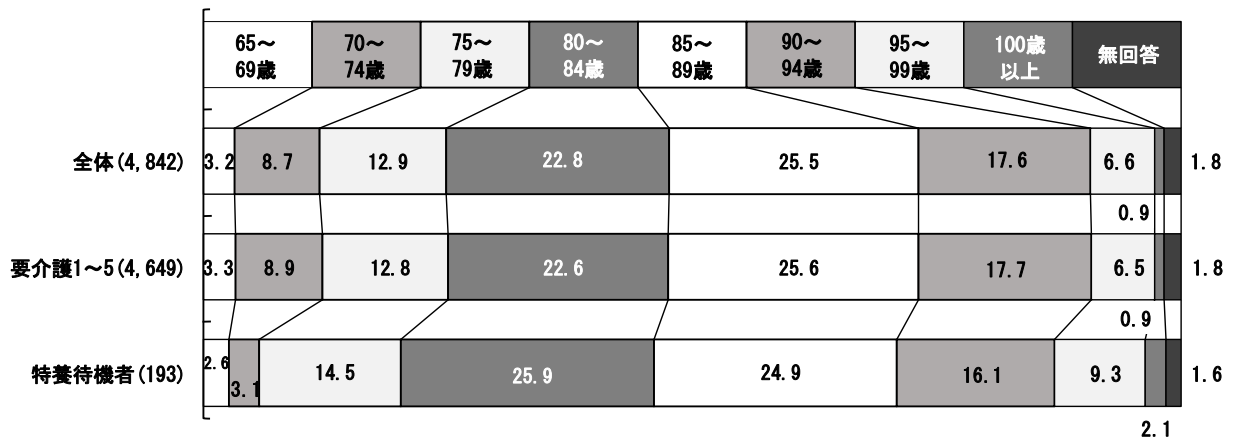
(1) 性別

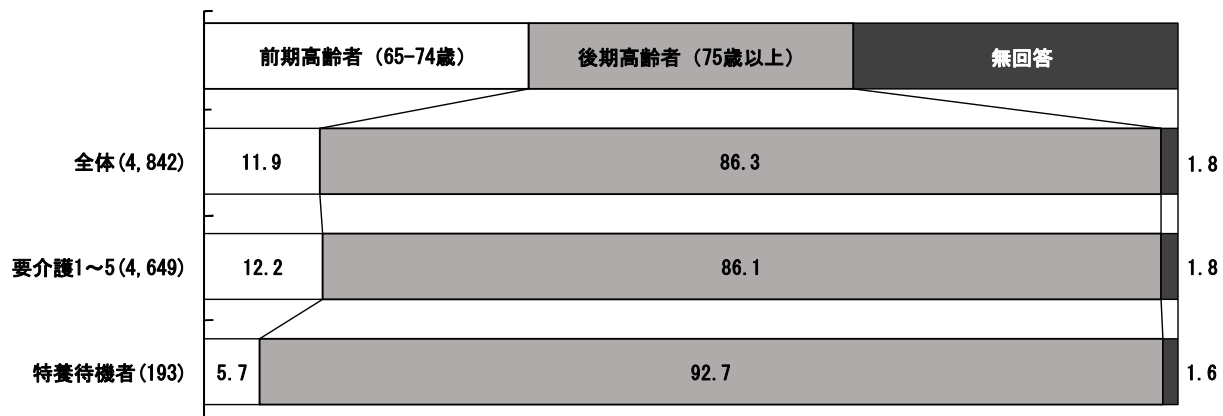


※1「無回答」…問2の選択肢のうち「無回答」を選択された方の割合

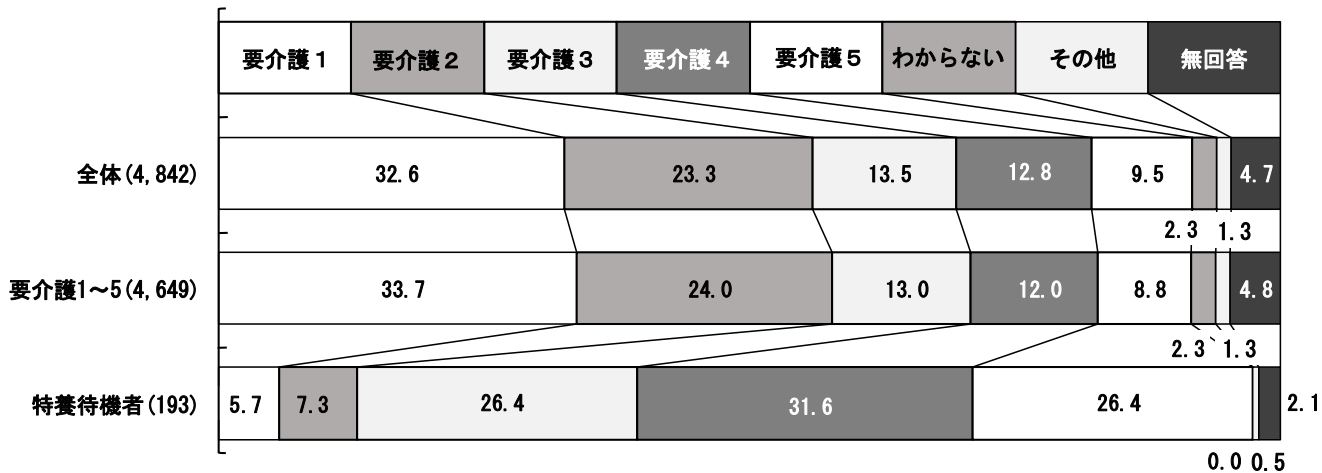
※2「不明」…問2の選択肢のうちいずれの選択肢も回答していない方の割合

(2) 年齢

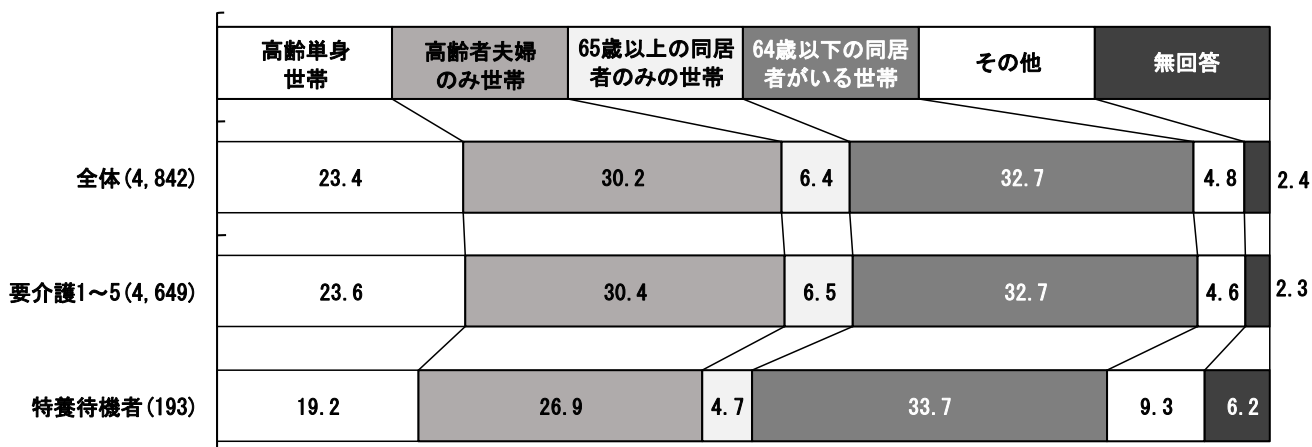




(3) 要介護認定状況



(4) 同居者



(5) 居住地域

	堺第1	堺第2	忠生第1	忠生第2	鶴川第1	鶴川第2	町田第1	町田第2	町田第3	南第1	南第2	南第3	無回答	
全体 (4,842)	5.8	6.8	8.3	8.5	8.1	8.8	9.0	8.1	8.5	9.1	8.3	8.7	2.0	
要介護1~5 (4,649)	6.0	6.9	8.4	8.4	7.9	8.8	8.9	8.0	8.6	8.9	8.2	8.8	2.0	
特養待機者 (193)	3.6	6.2	10.9	13.0	8.8	9.3	9.8	5.2	12.4	10.9	4.7	3.6	1.6	

(6) 住居

	自宅	病院	施設	その他	無回答	
全体 (4,842)	69.6			13.6	11.5	2.6
要介護1~5 (4,649)	70.7			13.2	11.0	2.8
特養待機者 (193)	42.0		10.4	22.8	22.3	2.3

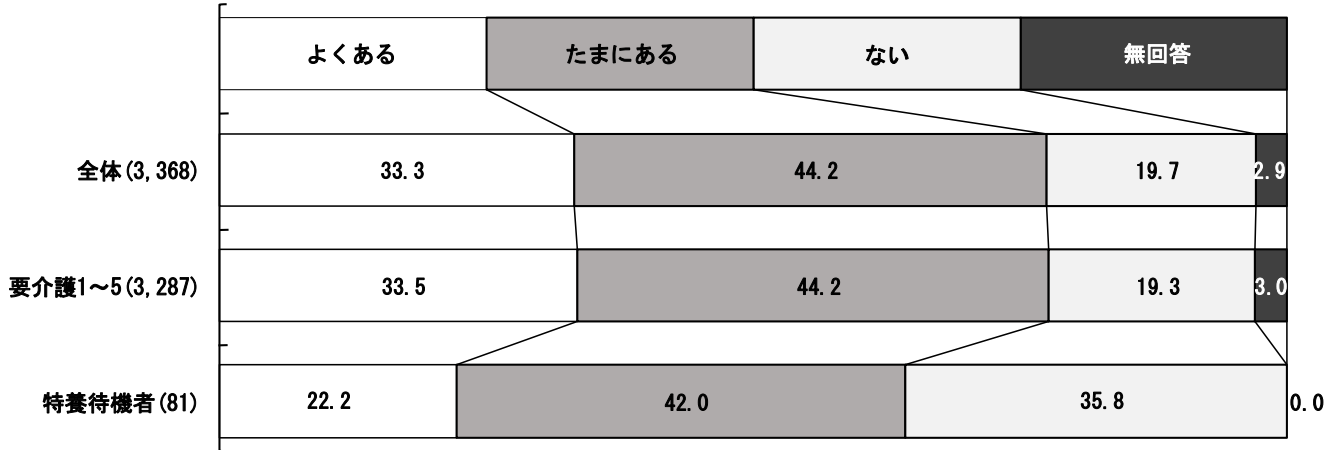
○住まいに「施設」と回答した方の内訳

	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護医療院	認知症高齢者グループホーム	介護付有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設	無回答	
全体 (658)	42.1			9.9	4.1	7.0	24.8	5.9	1.1	
要介護1~5 (614)	43.6			8.8	4.2	6.2	24.9	6.0	1.1	
特養待機者 (44)	20.5	25.0			18.2		22.7	4.5	0.0	

※特養待機者は、2022年4月1日時点の調査結果に基づき対象者を抽出しているため、特養待機者の「特別養護老人ホーム」には、2022年4月1日以後に入所した方が含まれる

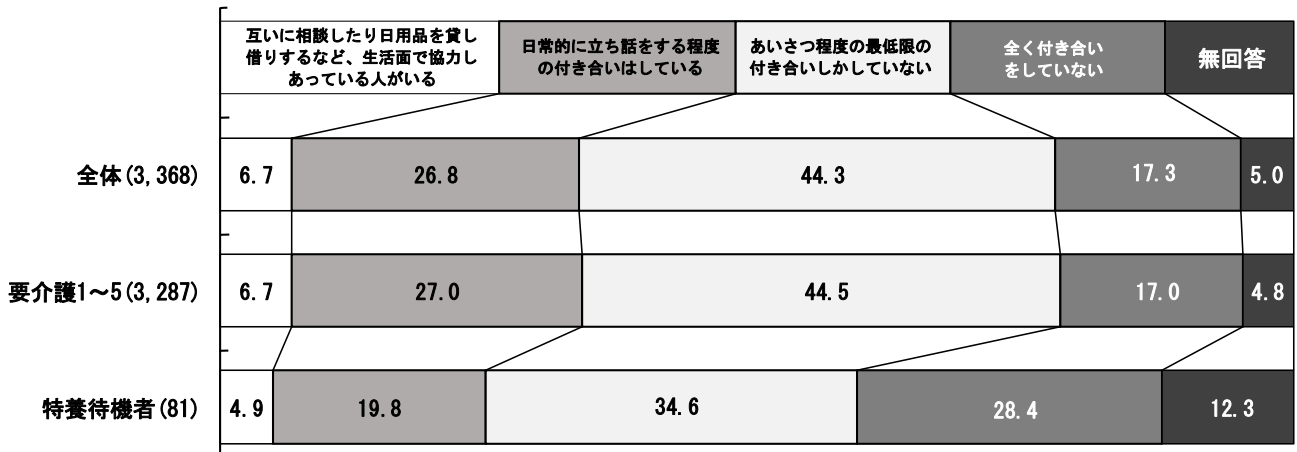
生活の状況について

(1) 日中独居の状況



※現在の住まいが【自宅】の方に限定して、算出している。

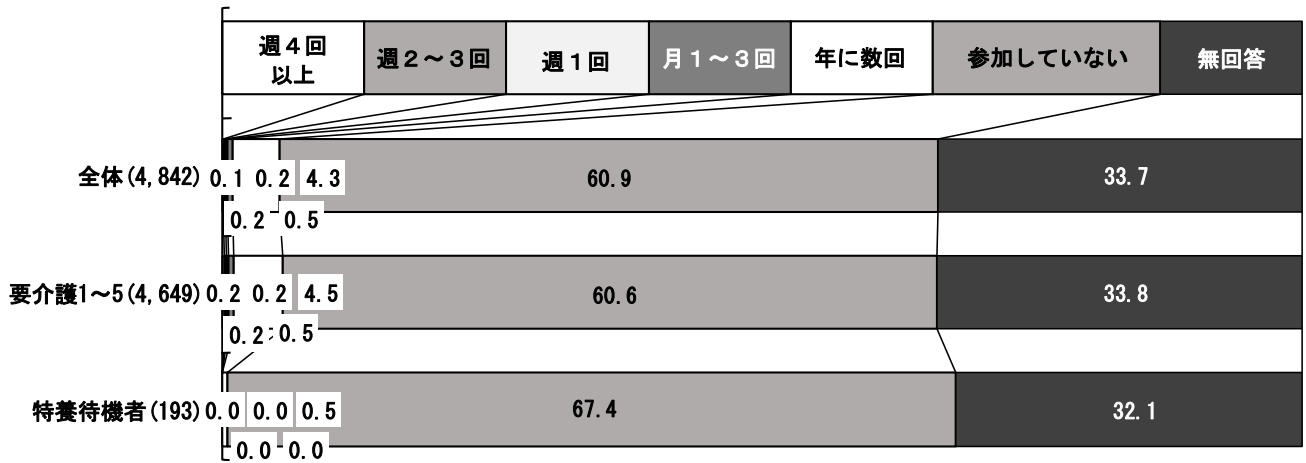
(2) 近所付き合いの有無



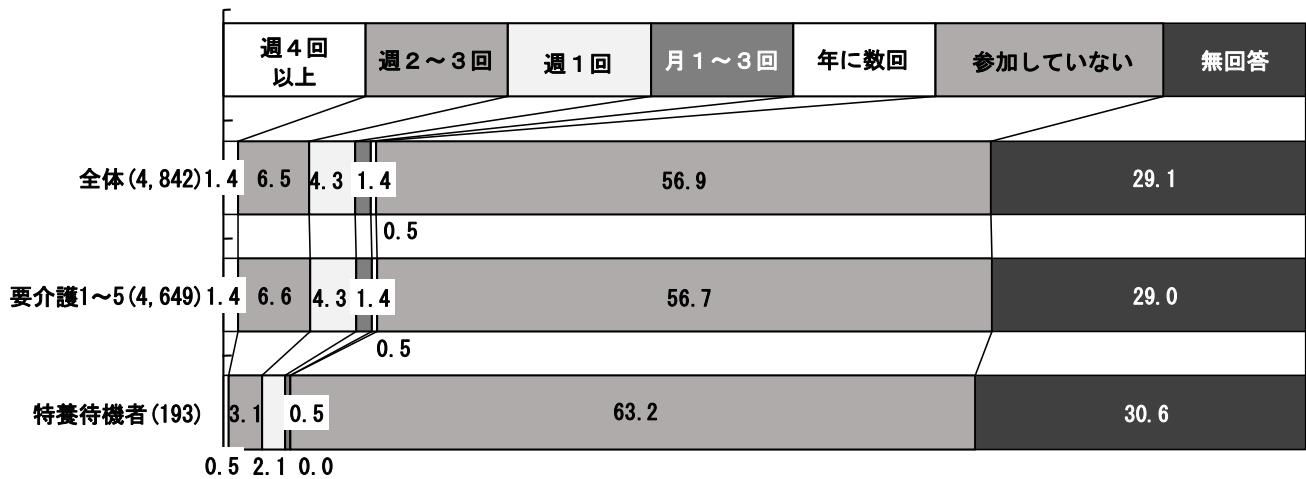
※現在の住まいが【自宅】の方に限定して、算出している。

(3)会・グループへの参加頻度

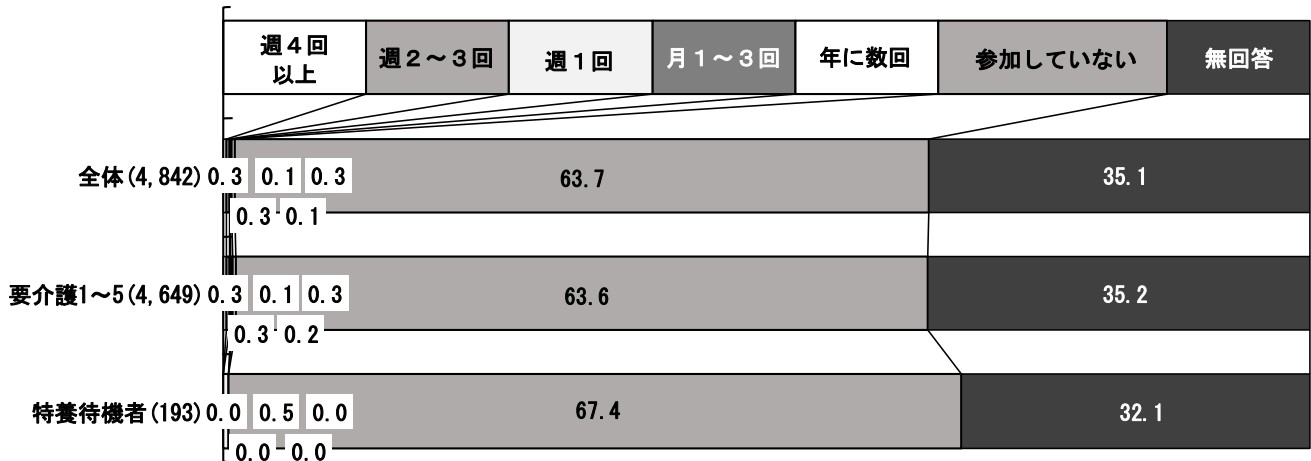
○町内会・自治会



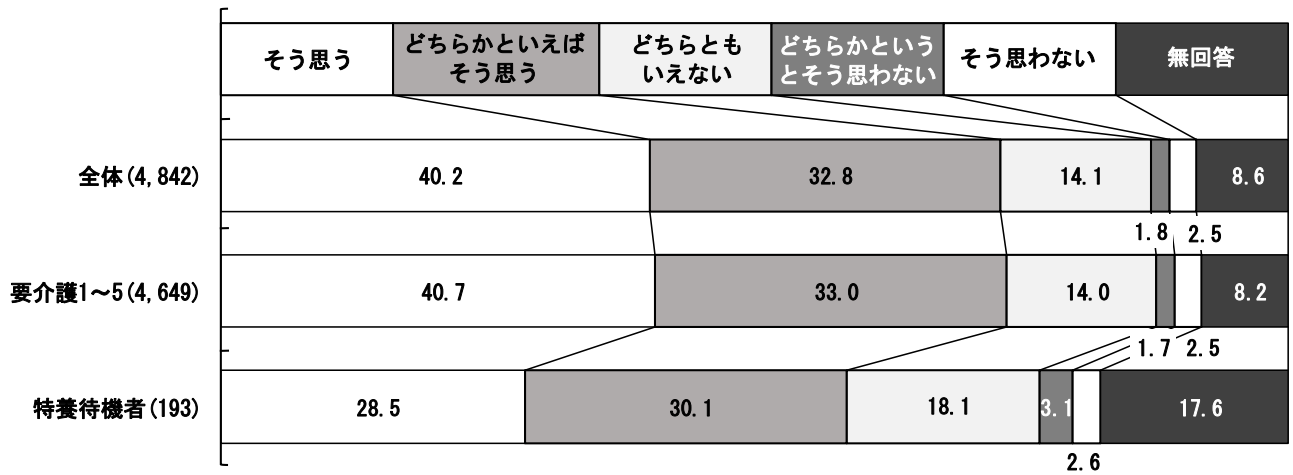
○健康体操やサロンなど介護予防のための通いの場



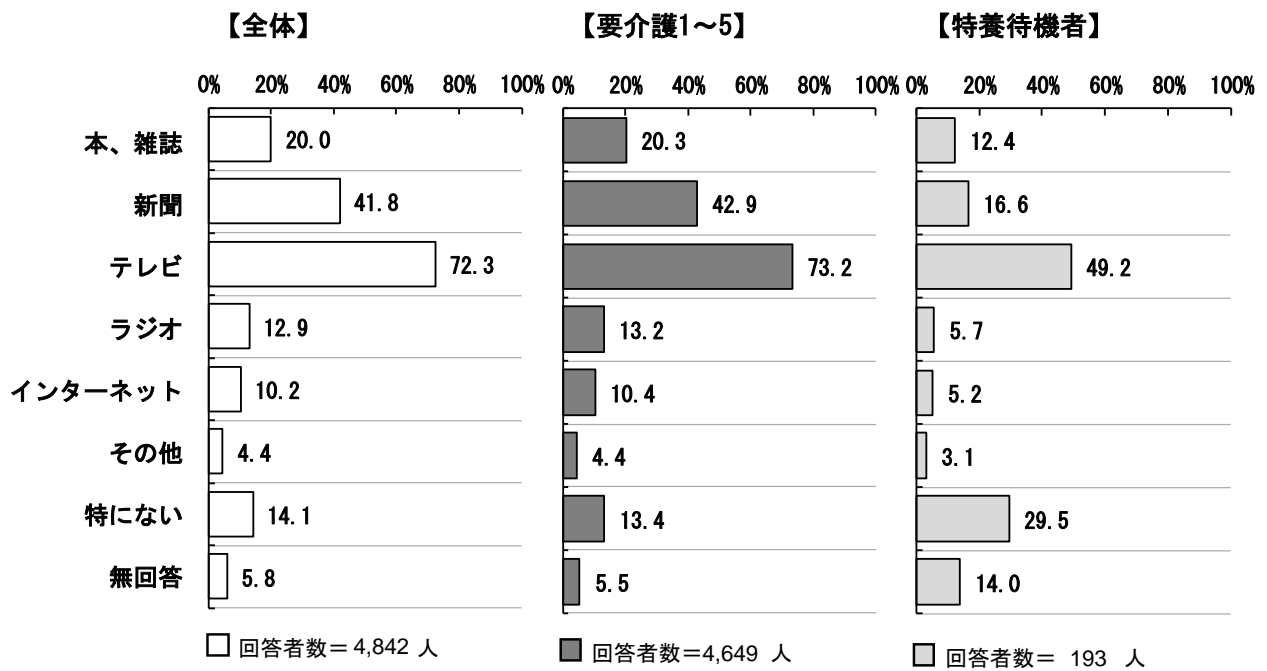
○収入のある仕事



(4)生活や健康に関する自身の意思が尊重されているか

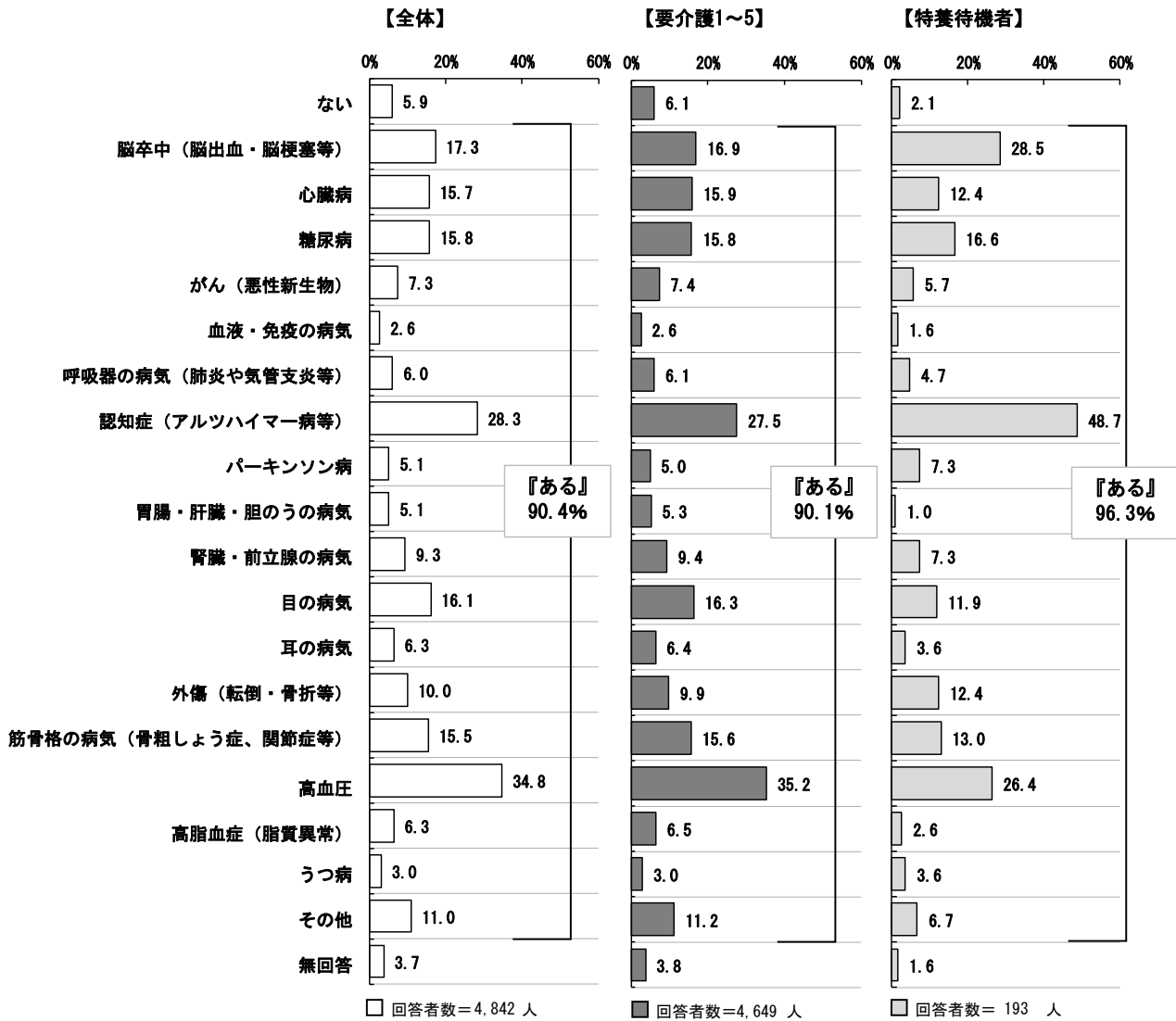


(5)情報入手の際、日常的に使用している媒体

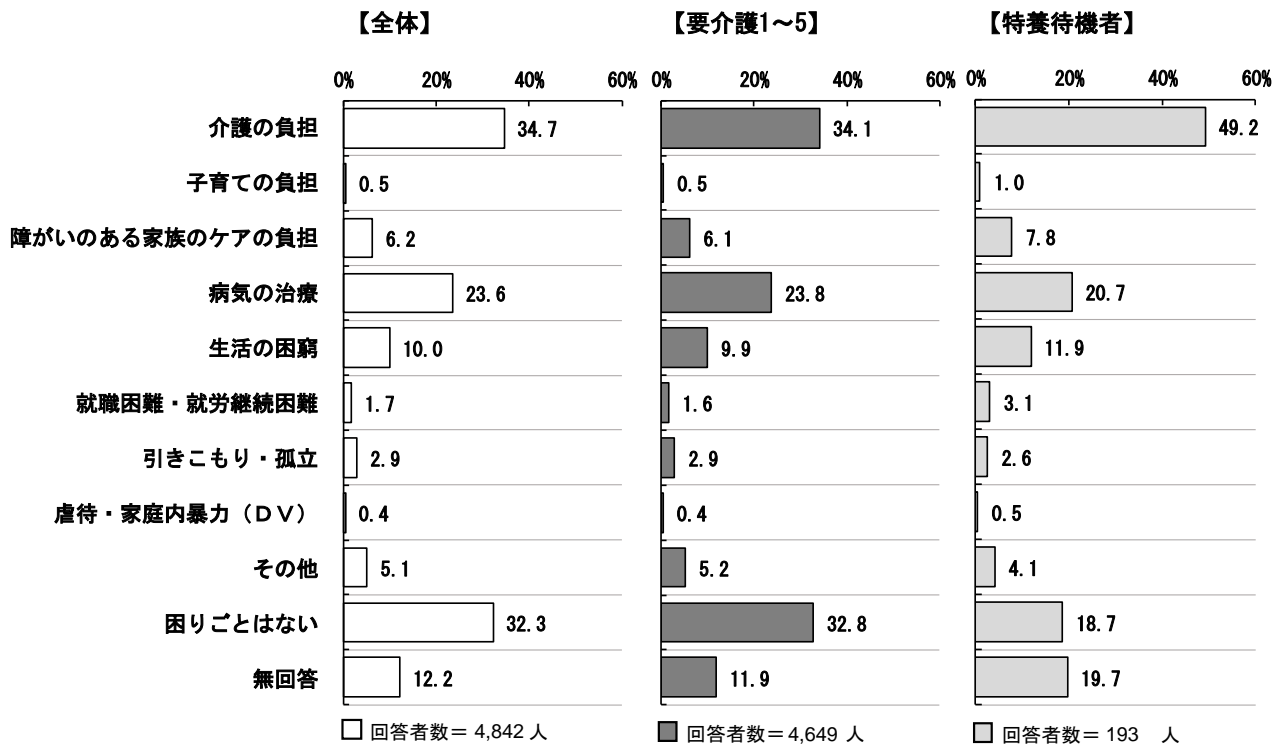


疾病の状況・困りごとについて

(1) 治療中の病気や後遺症のある病気の有無

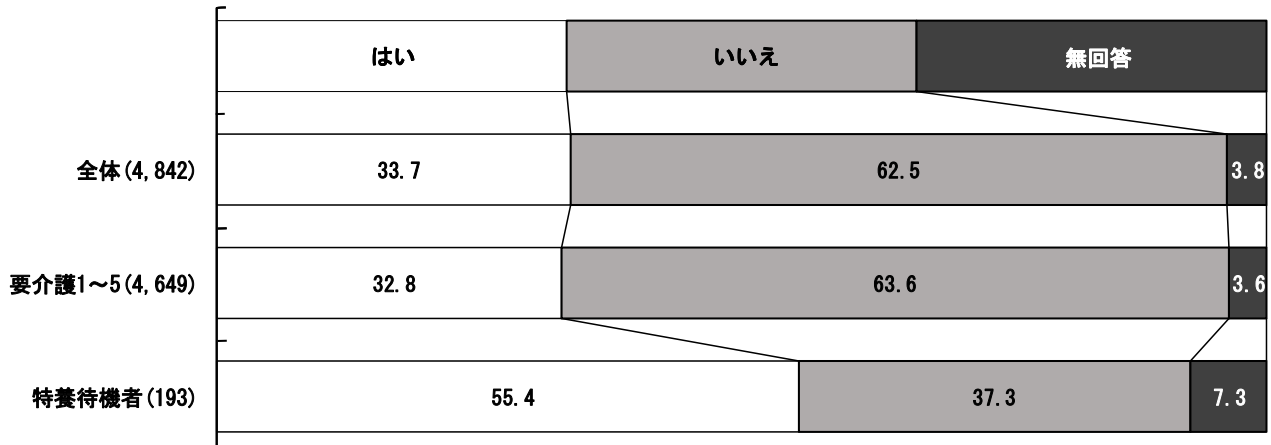


(2) 介護や子育て等、困りごとの有無

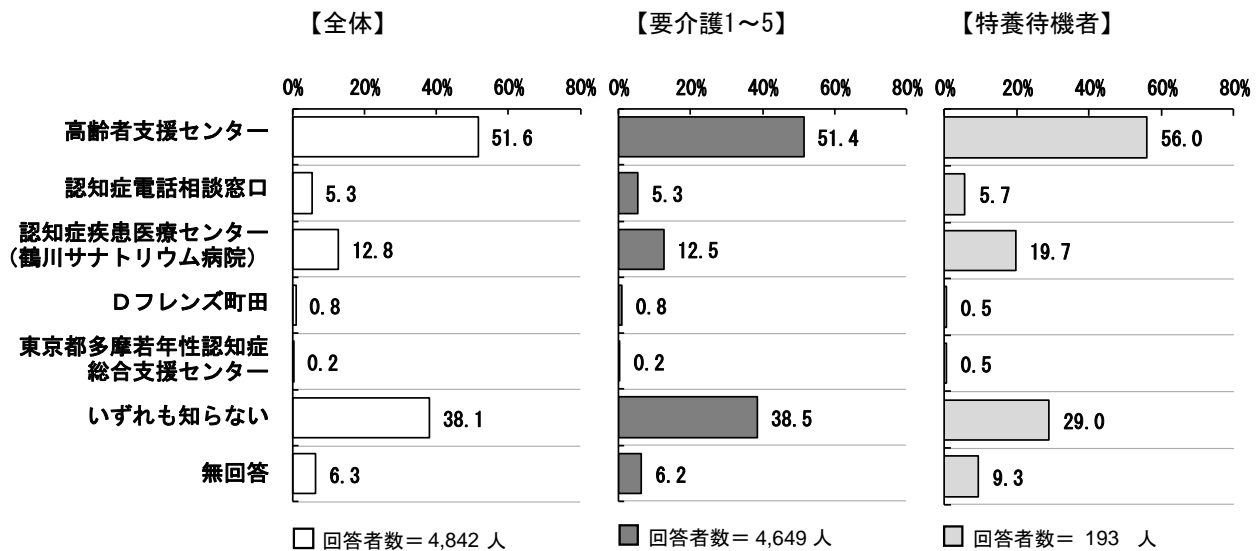


認知症について

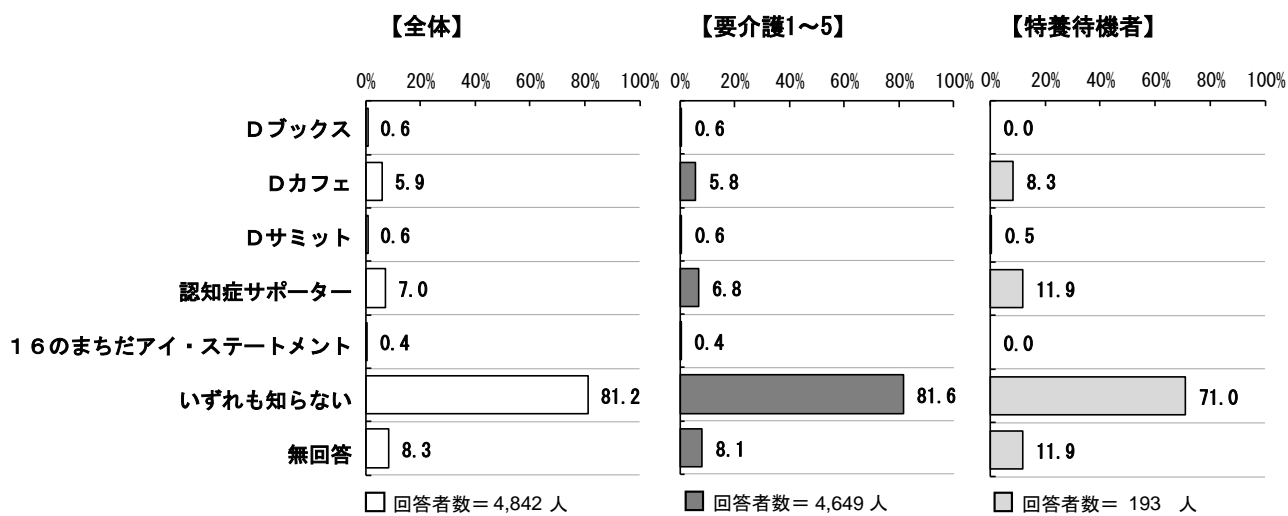
(1) 認知症の診断の有無



(2) 認知症相談窓口の認知度

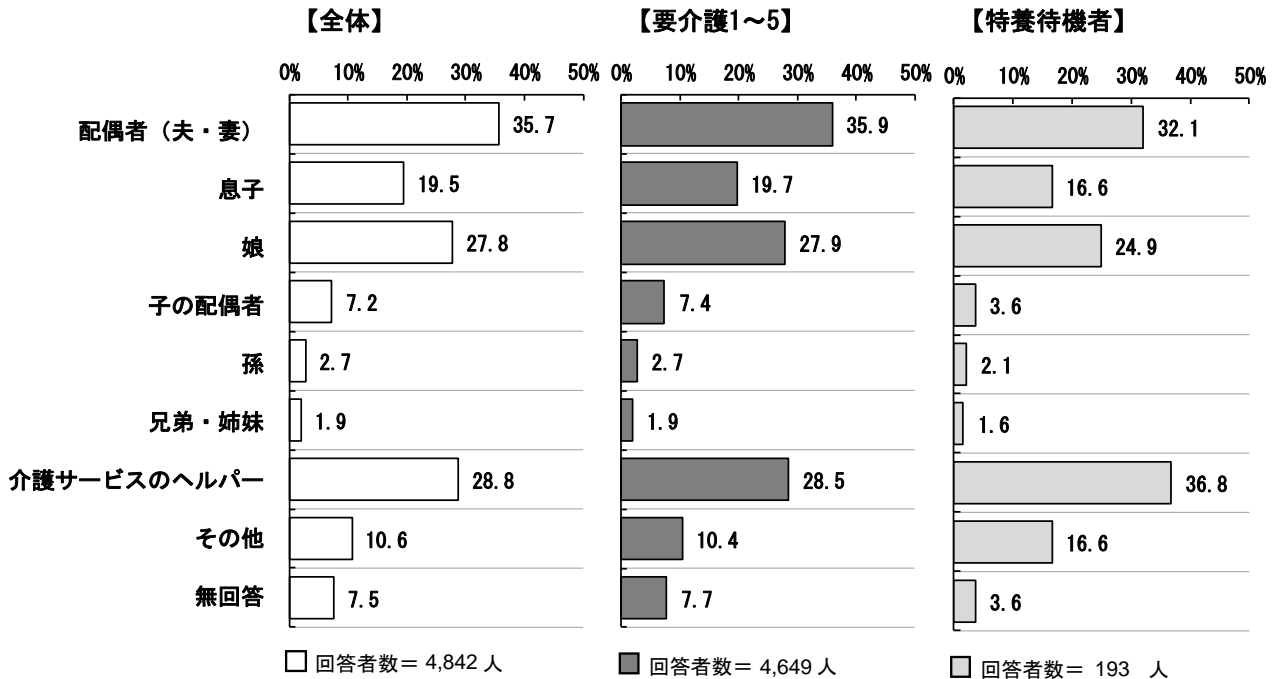


(3) 認知症に関する取り組みへの認知度

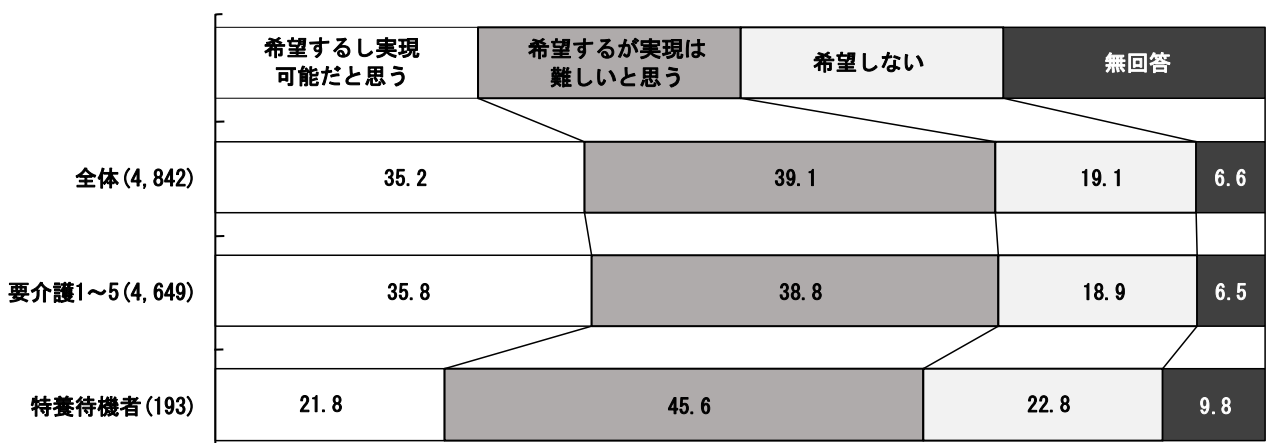


在宅療養について

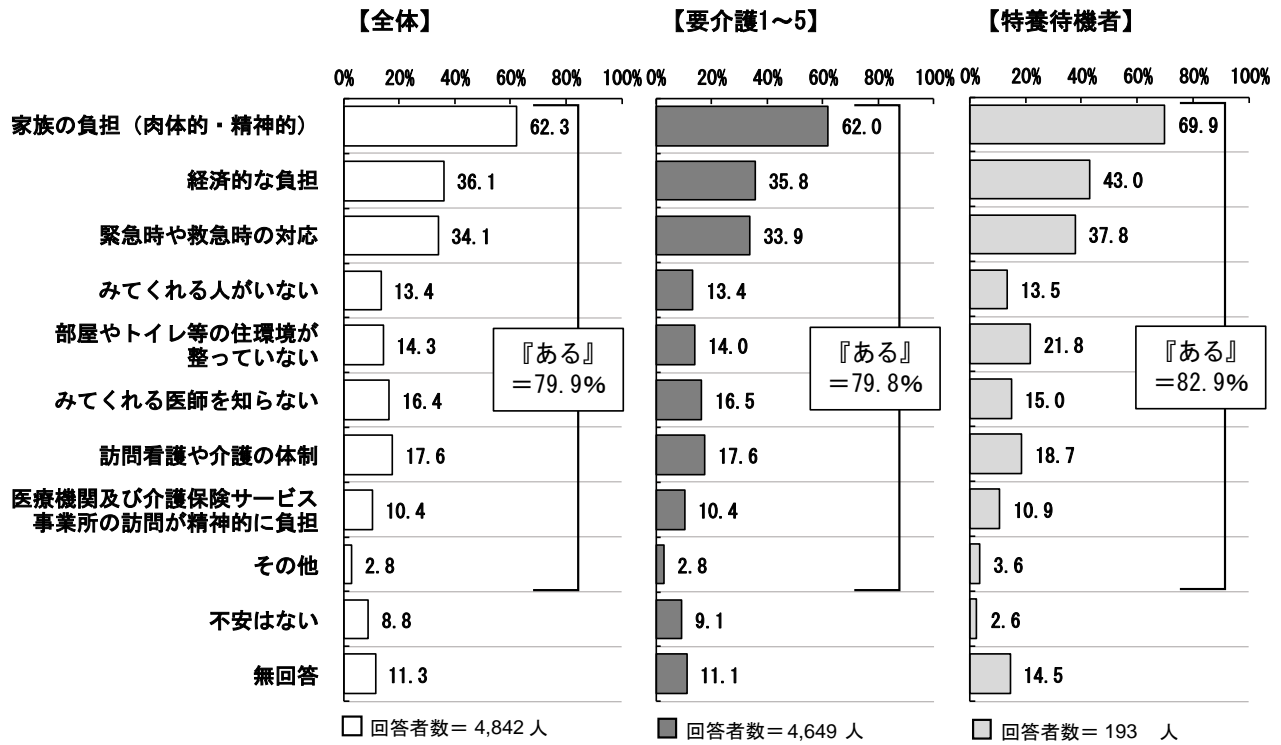
(1) 主な介護者



(2) 在宅療養希望の有無

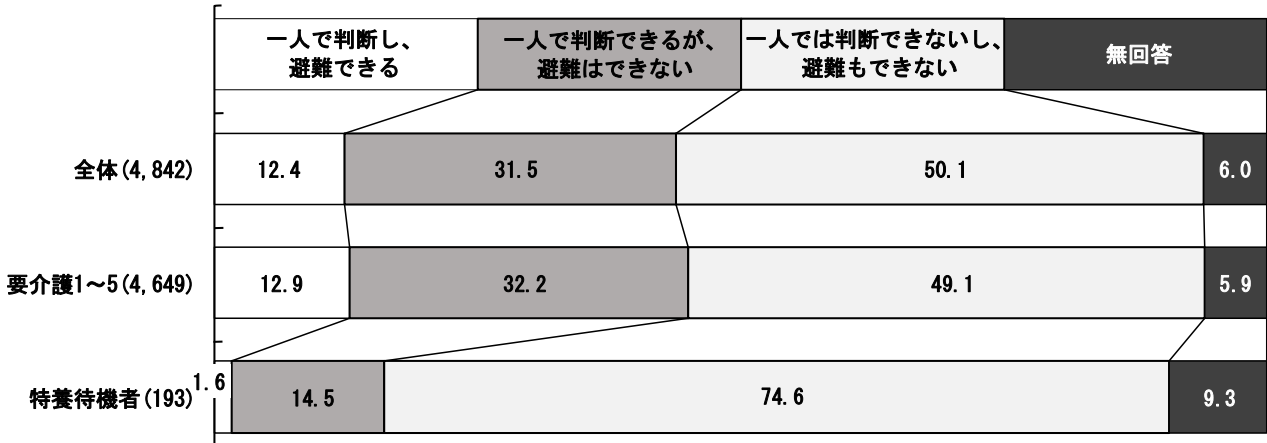


(3) 在宅療養について不安に感じること

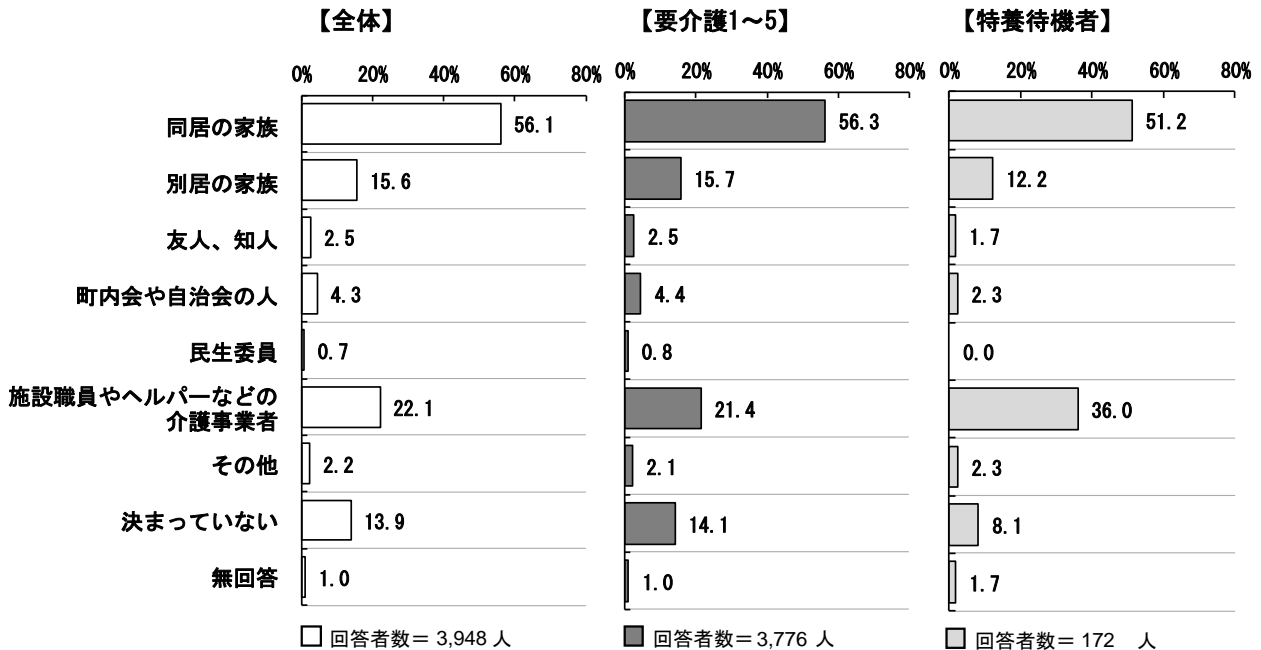


災害時の対応について

(1) 災害時に一人で避難できるか

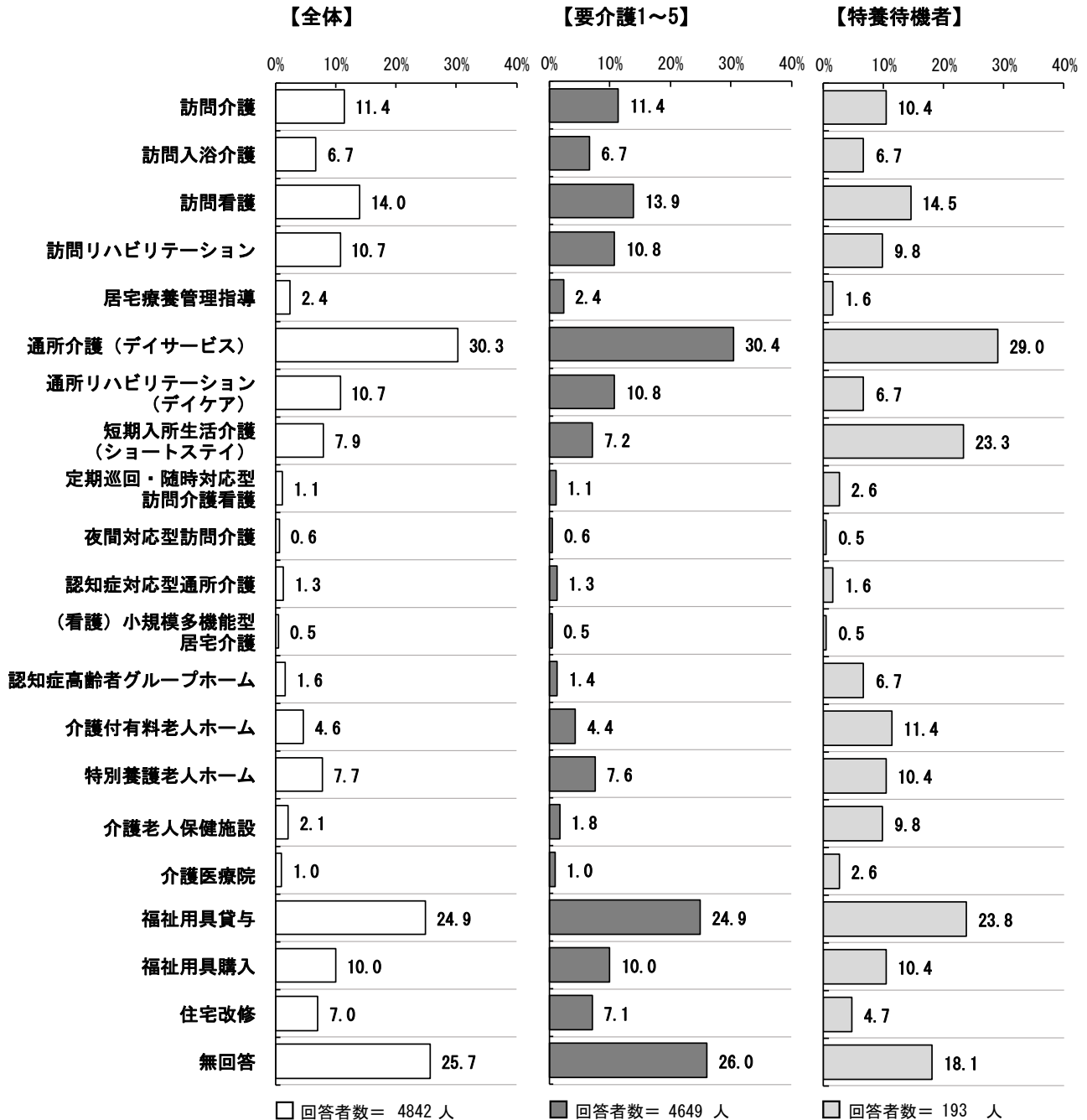


(2) 避難時の手助け

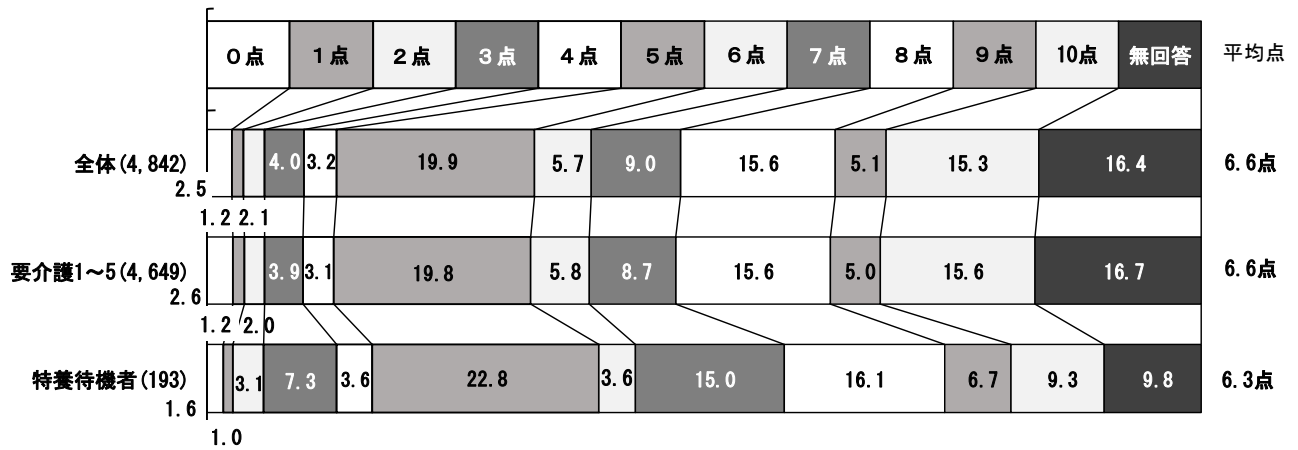


介護保険サービスの利用について

(1) 介護保険サービスの利用状況



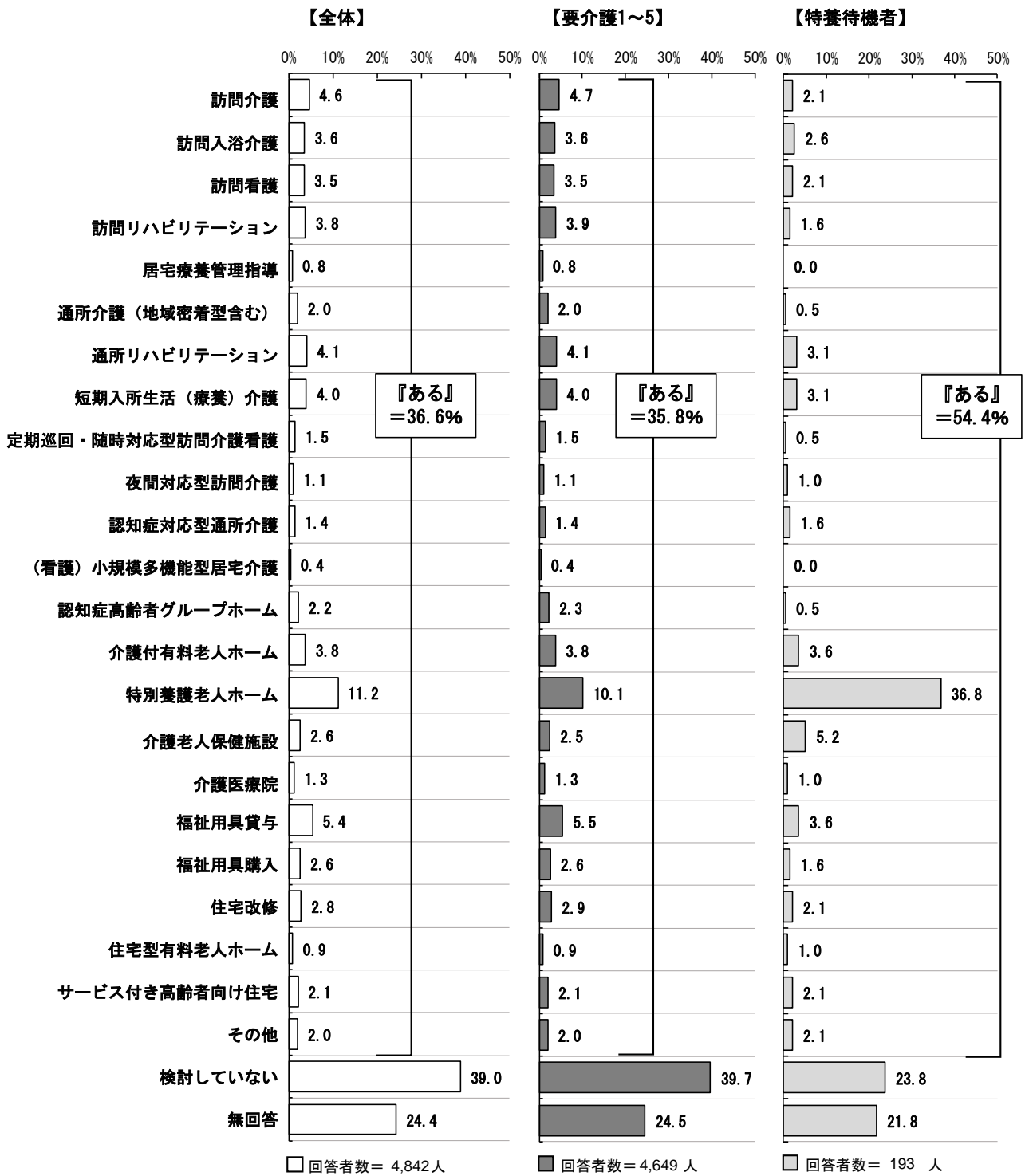
(2) 介護保険サービスの満足度



(3)介護保険サービスに「不満である」理由

サービス名 【ご意見の件数】	不満の割合 (全体)	不満の理由(抜粋、一部要約)
訪問介護【29 件】	5.3%	<ul style="list-style-type: none"> 決まった仕事しかやってもらえない。 回数が足りない。
訪問入浴介護【13 件】	4.0%	<ul style="list-style-type: none"> 回数が足りない。
訪問看護【26 件】	2.8%	<ul style="list-style-type: none"> 望むことをしてもらえない。 緊急時の対応が不十分。
訪問リハビリテーション 【21 件】	4.2%	<ul style="list-style-type: none"> 2割の負担が大きい。 回数や時間が足りない。
居宅療養管理指導【4 件】	6.9%	<ul style="list-style-type: none"> 料金が高い。 指導してくださる方が知識不足のようで助言がない。
通所介護 (デイサービス)【78 件】	4.9%	<ul style="list-style-type: none"> 回数が少ない。 料金が高い。
通所リハビリテーション (デイケア)【23 件】	4.8%	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員の人数が足りない。 回復に直接役立つリハビリ内容ではない。 回数が足りない。
短期入所生活介護 (ショートステイ)【47 件】	13.9%	<ul style="list-style-type: none"> 夜間に看護師がいなくなる。 介護者の人員不足と経験不足。
定期巡回・随時対応型訪問 介護看護【2 件】	1.9%	<ul style="list-style-type: none"> 3 ヶ月に 1 度の訪問リハでいらっしゃる看護師の必要を感じない。
夜間対応型訪問介護【0 件】	3.6%	-
認知症対応型通所介護 【4 件】	4.8%	<ul style="list-style-type: none"> 回数制限がある。 単位数が足りなくて週4回しか利用できない。
(看護)小規模多機能型居宅 介護【5 件】	26.1%	<ul style="list-style-type: none"> 職員の人員不足等により十分な介助を受けられない時がある。 回数が少ない。
認知症高齢者 グループホーム【8 件】	9.0%	<ul style="list-style-type: none"> 職員数とスキルが不足している。 費用負担が非常に大きい。
介護付有料老人ホーム 【24 件】	11.6%	<ul style="list-style-type: none"> 料金が高い。 公的施設との費用負担に差がありすぎる。
特別養護老人ホーム【25 件】	6.2%	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちに寄り添ってもらえない。 職員不足。 面会が出来ない。
介護老人保健施設【16 件】	14.7%	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの人数が足りない。 リハビリ時間が少ない。
介護医療院【7 件】	14.0%	<ul style="list-style-type: none"> 料金が高い。
福祉用具貸与【28 件】	2.6%	<ul style="list-style-type: none"> 借りたい用具がない。 当初の設置だけでアフターサービスがない。
福祉用具購入【19 件】	4.3%	<ul style="list-style-type: none"> 不要になったとき、無料で引き取らず有料にしてほしい。 選択肢が少ない(種類が少ない)、費用が高い。
住宅改修【36 件】	11.4%	<ul style="list-style-type: none"> 対応が遅い。 申請手続きと書類作成が煩雑。

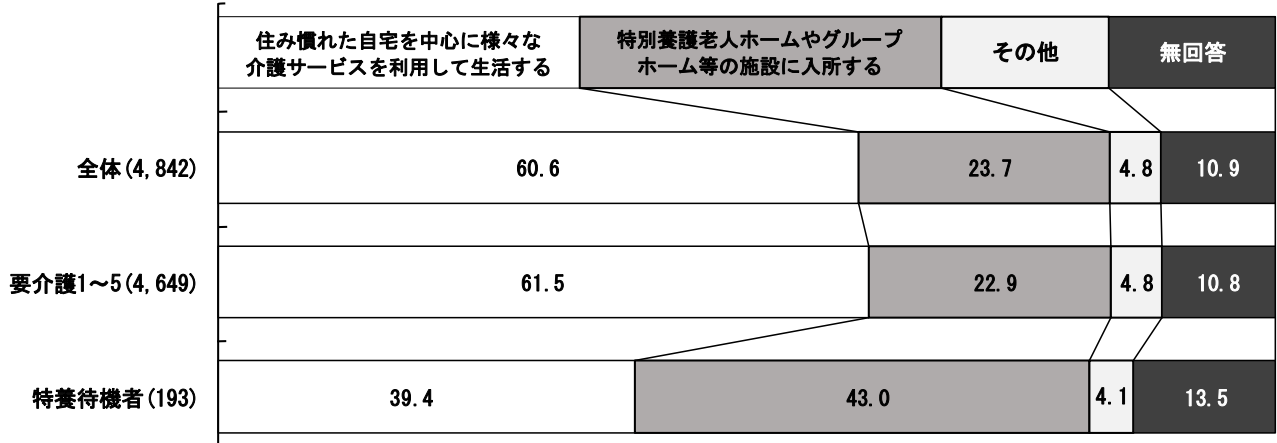
(4) 利用検討中のサービスや施設等



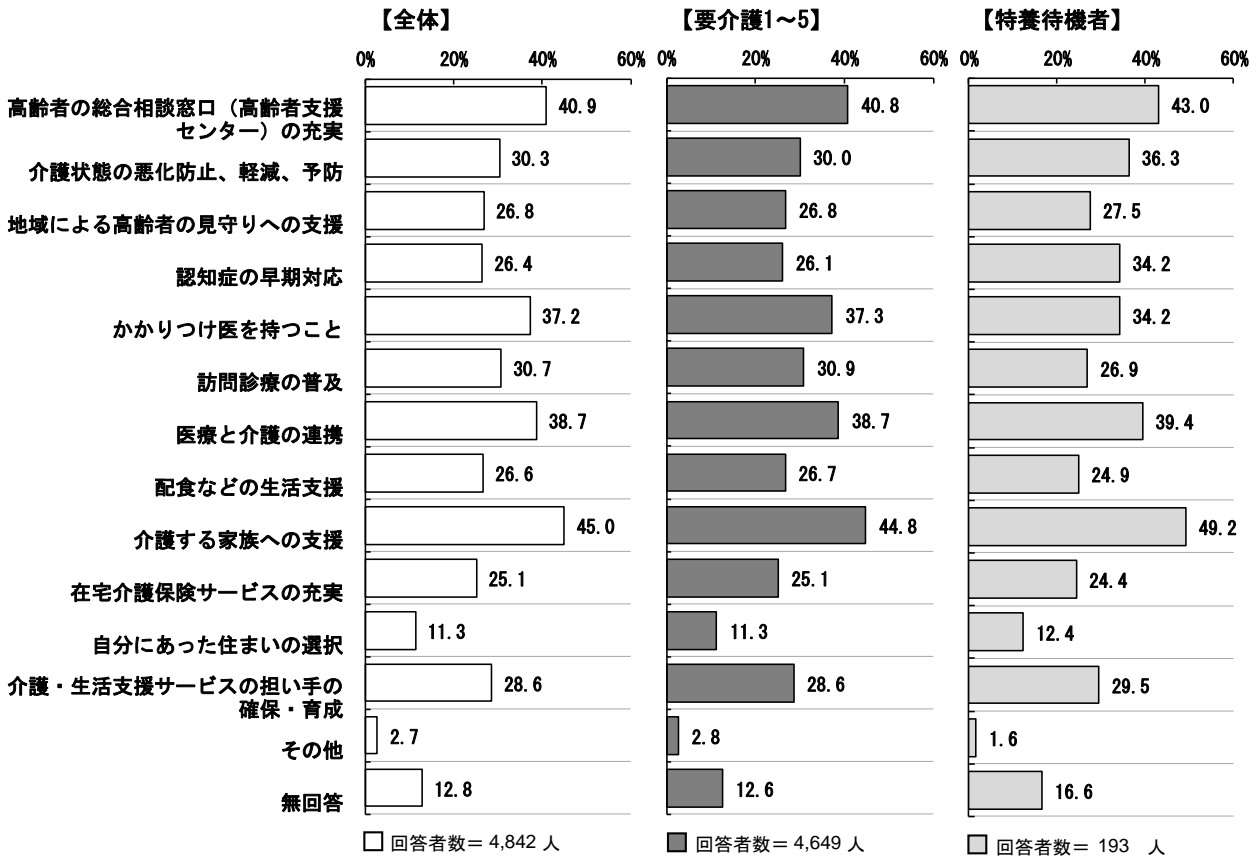
※『ある』=100%-「検討していない」-「無回答」

地域包括ケアシステムの考え方について

(1) これからの介護の望ましい形態

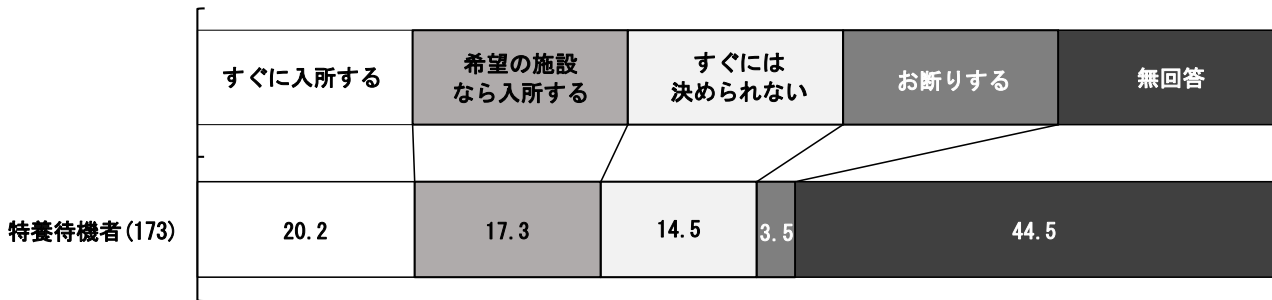


(2) 地域包括ケアシステム実現のために重要だと思うもの



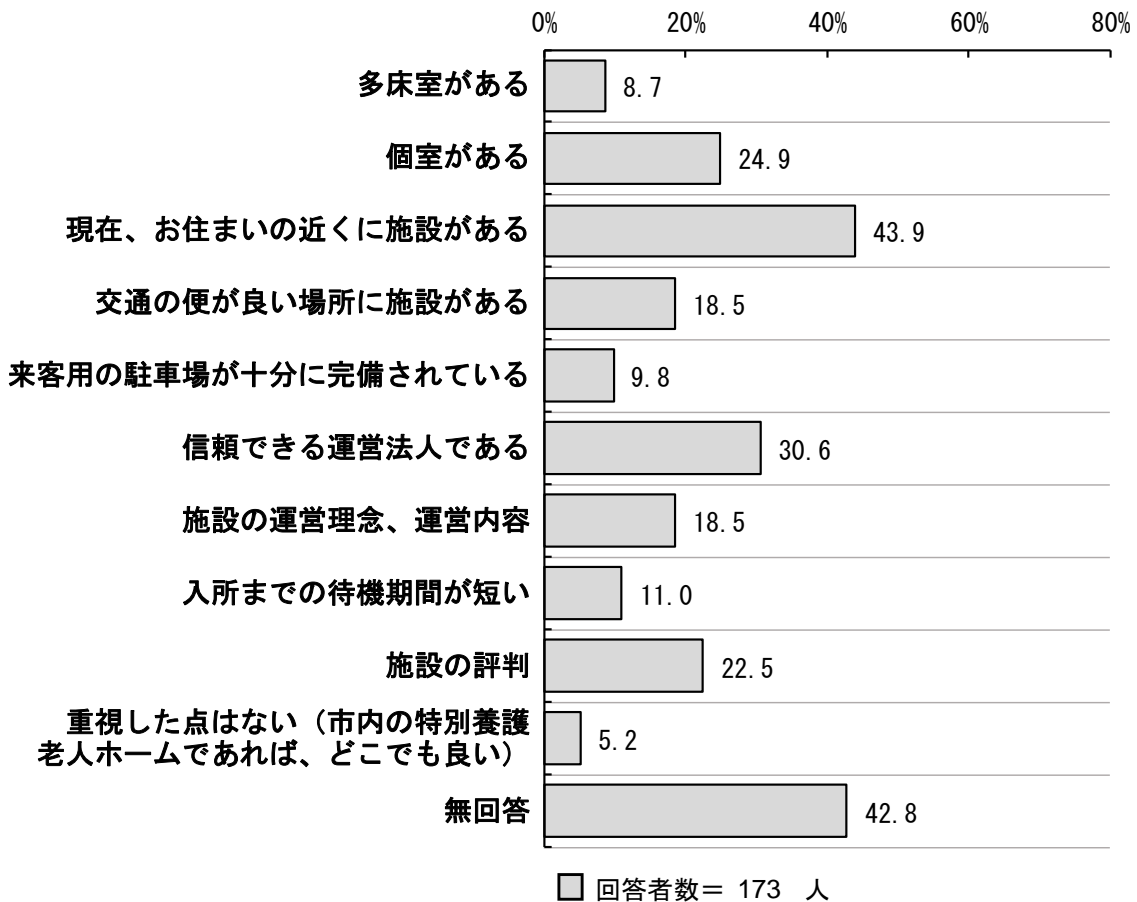
特別養護老人ホームの待機について

(1) 入所通知が来た場合の対応



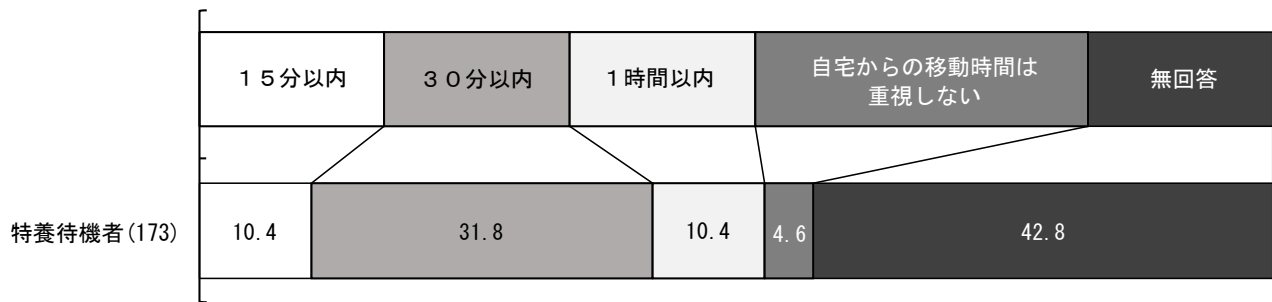
※問 32 で、「特別養護老人ホーム」を利用していると回答した方を除いている。

(2) 入所先を選択する際に重視した点



※問 32 で、「特別養護老人ホーム」を利用していると回答した方を除いている。

(3) 自宅から特養までの望ましい移動時間



※問 32 で、「特別養護老人ホーム」を利用していると回答した方を除いている。

結果のまとめ

【属性】P2～P4

- ・回答者の約 6 割の方が女性である。また、約 85%の方が後期高齢者である。
- ・約 2 割の方が単身世帯、約 3 割の方が高齢者夫婦のみの世帯である。
- ・約 7 割の方が自宅で暮らしており、施設入居者は約 4 割の方が「特別養護老人ホーム」、約 25%の方が有料老人ホームに入居している。

【生活の状況について】P5～P7

- ・約 2 割の方が全く近所付き合いをしていない。
- ・約 15%の方が「介護予防のための通いの場」に参加している。

【疾病の状況・困りごとについて】P8～P9

- ・約 2 割の方が障がいのある家族のケア、生活の困窮、引きこもり・孤立など、複数の困りごとを抱えている。

【認知症について】P10～P11

- ・約 3 割の方が認知症と診断されている。
- ・約 4 割の方が認知症に関する相談窓口を知らない。

【在宅療養について】P12～P13

- ・主な介護者は、「配偶者(35.7%)」、「介護サービスのヘルパー(28.8%)」、「娘(27.8%)」、「息子(19.5%)」である。
- ・約 75%の方が在宅療養を希望している。
- ・約 6 割の方が在宅療養での家族の肉体的・精神的負担を不安に感じている。

【災害時の対応について】P14

- ・約 8 割の方が災害時に一人で避難することができない。

【介護保険サービスの利用について】P15～P18

- ・現在利用している介護サービス上位 3 つは、「デイサービス(30.3%)」、「福祉用具貸与(24.9%)」、「訪問看護(11.4%)」である。

【地域包括ケアシステムの考え方について】P19

- ・地域包括ケアシステム実現のために重要だと思うもの上位 3 つは、「介護する家族への支援(45.0%)」、「高齢者支援センターの充実(40.9%)」、「医療と介護の連携(38.7%)」である。

【特別養護老人ホームの待機について】P20～P21

- ・特別養護老人ホームの待機者のうち、入所通知が来たらすぐに入所する方は約 2 割である。